



視察研修等報告書

令和5年8月17日

坂井市議会

議長 辻人志 殿

会派名 政新さかい
報告者 辻人志

1. 日時 令和5年8月2日(水) ~ 令和5年8月3日(木)

2. 視察研修先
(1) 参議院議員会館
(2) 福井県アンテナショップ(食の國291)
(3) 福井県東京事務所(都道府県会館)

3. 視察研修内容
(1) 家族法制の見直しに関する法務省レクチャー
(2) 福井県アンテナショップの視察
(3) 福井県東京事務所によるレクチャー

4. 参加者 辻人志(政友会川畑孝治議員、三宅小百合議員同行)

5. 内容詳細

(1) 家族法制の見直しに関する法務省レクチャー
参議院議員会館で法務省民事局の担当官から法制審議会家族法制部会における調査審議の概要についてレクチャーを受ける。

法制審議会は令和3年3月から計20回の会議を実施し、今日までに、父母の離婚後も、父母がいずれも子を養育する責務を有することを明確化する、親権が「親の責務」であることを示す工夫について、DVや虐待がある事案に適切に対応できる仕組み、親子交流や財産分与など離婚にまつわる様々な考え方について中間試案が提示されている。

今後パブリックコメントを実施し、中間試案に盛り込まれた改正案の一例や考え方に対する賛否のみでなく、国民が求める改正案に関する意見を幅広く募ることだった。

(2) 福井県アンテナショップの視察

銀座1丁目にある福井県アンテナショップ「ふくい食の國291」を視察する。移転・リニューアルして初めて訪れたが、以前よりスペースが広い分、多くの県産品が並んでいた。

(3) 福井県東京事務所によるレクチャー

千代田区平河町の都道府県会館内にある福井県東京事務所を訪問し、事務所の職員さんおよびFBC東京支社営業部長の鈴木さんから北陸新幹線敦賀駅開業を見据えた首都圏における観光戦略などについてお話を伺ったあと意見交換を行った。

6. 所見・感想等

(1) 家族法制の見直しに関する法務省レクチャー

中間試案で示されている考え方は、面会交流・養育費などについて両論併記されている案もあり、今後取りまとめていく上で様々な課題や困難があることが推測されるが、あくまでもチルドレン・ファーストという考え方のもと議論を進めていってほしいと思う。

坂井市など自治体としては、子ども家庭庁や県などと連携して、養育費などに関する相談窓口を開設するなどの取り組みが必要なのではないかと考える。

(2) 福井県アンテナショップの視察

銀座という立地もあって、買い物客だけでなく観光の途中で立ち寄る人も多いようだ。地下1階にはおろしそばやソースカツ丼を提供するコーナーもあり、常連らしいサラリーマンのほか通りがかりの観光客が舌鼓を打っていた。少々値段が高いが、これも銀座という立地を考えるとやむを得ないところか。

福井ではなかなか手に入らない老舗酒造の純米酒や工芸品が販売されているなど、マーケティングには力を入れているようだ。観光PRも積極的に行っているとのことで、首都における食と観光の最前線としての役割を果たしていると感じた。

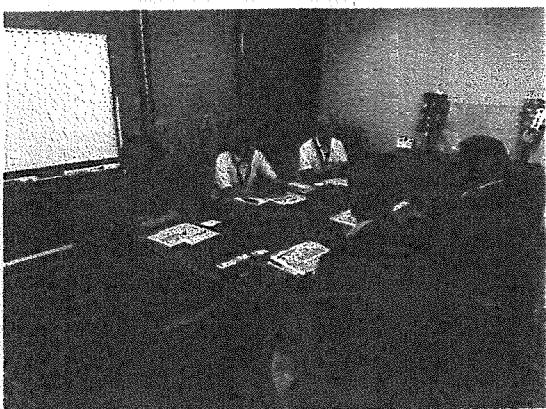
(3) 福井県東京事務所によるレクチャー

首都圏における福井県の認知度はまだ低いものの、恐竜や越前ガニというイメージは浸透しており、これらを基本に東尋坊や永平寺、丸岡城などへの誘客を図りたいとのこと。また東京だけでなく大宮駅を起点として埼玉県や東北新幹線沿線、さらには長野県からの誘客も期待できるため、今後それらの地域をターゲットに物産展などを開催して幅広くPRを行っていきたいとのことだった。

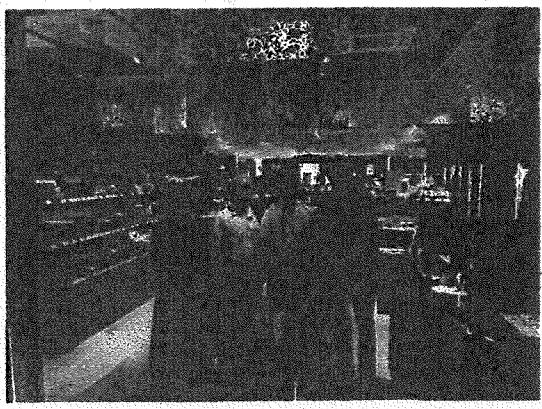
来年3月に向けて期待は大きいが、やはり課題は2次交通の整備であることを強く感じた。

なお、福井県東京事務所には坂井市から若手職員が派遣されており、首都圏統括監付コーディネーターとして勤務している。首都圏における最前線部隊の一員として今後の活躍に期待したい。

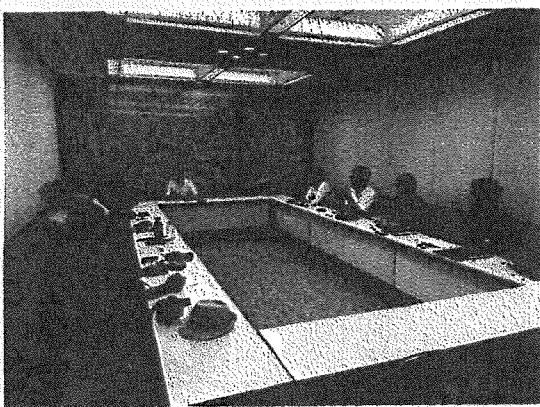
7. 添付資料



▲法務省担当官からのレクチャー
(参議院議員会館)



▲福井県アンテナショップ
(食の國291)



▲福井県東京事務所との意見交換
(都道府県会館)

会派内供覧	